



営農タイムリー！



防除所ニュース

2024年5月13日発行

発生予察特殊報

京都府病害虫防除所より、
発生予察特殊報 第2号が発表されました。

病害虫名 **キュウリ黄化病**

病原ウイルス名 : **Beet pseudoyellows virus: BPYV**

作物名 **キュウリ**

発生地域 **京都府南部**

1. 発生経過

令和5年7月、京都府南部の露地**キュウリ**ほ場において、**退緑黄化症状**を示す株が認められた。京都府生物資源研究センターにおいてRT-PCR法による検定及びRT-PCRの増幅産物の塩基配列解析から、Beet pseudoyellows virus: BPYVの感染を確認した。本病は国内では1977年に埼玉県および群馬県で発生が確認され、以後、全国的に発生が確認されている。なお、同試料からCucurbit aphid-borne yellows virus: CABYVの感染も確認している。

2. 病徴

本病の病徴は、**キュウリ退緑黄化病**(病原ウイルスCucurbit chlorotic yellows virus: CCYV)に酷似している。発生初期は、葉に薄い緑色の小斑点を生じ、葉脈を残して葉全体が黄化する(写真1)。症状が進展すると、葉脈に沿った部分を残して退緑して葉全体が黄化し、葉縁部が下側に巻く症状を呈する(写真2)。さらに症状が進展すると黄化が進み、草勢が低下して減収となる。

3. 病原ウイルスの特徴

- (1) 病原はCrinivirus属のウイルスで、**オンシツコナジラミ**により媒介される(写真3)。
- (2) ウイルスに感染した植物を吸汁した**オンシツコナジラミ**は数日間ウイルス媒介能を保持(半永続伝搬)する。経卵、汁液、種子及び土壌伝染はしないとされている。
- (3) 本ウイルスは、**キュウリ**、**メロン**および**スイカ**等の**ウリ科**、**キク科**、**アブラナ科**植物等、広範な植物に感染することが確認されている。

4. 防除対策

- (1) 発病株は直ちに抜き取り、ポリ袋等に密閉してほ場外に持ち出し適切に処分する。
- (2) 媒介虫であるオンシツコナジラミの防除を徹底する。
 - ① 苗に寄生していない事を確認して、ほ場に定植する。
 - ② 施設の開口部に0.4mm 目以下の防虫ネットを展張し、侵入を防ぐ。
 - ③ 近紫外線カットフィルムを使用する。
 - ④ 施設では、**黄色**粘着ロールや粘着板を活用する。
 - ⑤ 施設内及び周辺の雑草は発生源となるので、徹底して除去する。
 - ⑥ 周辺に分散させないため、栽培終了後に全株を地際から切断または抜根し、施設を密閉して死滅させる。
 - ⑦ 薬剤感受性低下を防ぐため、同一グループの薬剤の連用を避ける。

<参考文献>

平成16年度病害虫発生予察特殊報第2号、熊本県病害虫防除所(2005年1月)

防除総覧資材編第2 巻野菜(果菜)追録21号キュウリ黄化病、農村漁村文化協会(2015年)



写真1 葉脈間に黄緑色、不整形の小斑点が多数できた葉



写真2 葉脈を残して葉全体が黄化し、葉縁が下方に巻いた葉



成虫



幼虫

写真3 媒介虫のオンシツコナジラミ

■ コナジラミ類(オンシツコナジラミ)の防除体系 例

育苗期に

定植時に

28

ベリマーク^{SC}

[400株あたり25mL
400株あたり10~20L(1株あたり25~50mL)
育苗期後半~定植当日/ 灌注 / 1回以内]
〔アザミウマ類:ハモグリバエ類〕
[400株あたり2~20L(1株あたり5~50mL)]
〔アフラムシ類〕

OR

1B

ジエイエス^{殺虫剤} 粒剤

[3~6kg/10a(1~2g/株) 定植時/作条散布
又は植穴処理/ 1回以内]
〔アザミウマ類:アフラムシ類:オンシツコナジラミ〕

28

プリロツン^{殺虫剤} オメガ

[2g/株 育苗期後半~定植時/株元散布/1回
〔アザミウマ類:アフラムシ類:ハモグリバエ類〕

4A
28

ミネクト デュオ [アクタラ+プリロツン]
粒剤

[1g/株 鉢上げ時~育苗期後半/株元散布/1回
〔アザミウマ類:アフラムシ類:ハモグリバエ類〕

発生が認められたら

30

グレースィア[®] 乳剤

[2000倍 収穫前日まで/ 2回以内]
〔アザミウマ類:ウリ/メイガ:ハスモンヨトウ:
ハダニ類:ハモグリバエ類〕

29

ウララ^{DF}

[2000倍 収穫前日まで/ 3回以内]
[2000~4000倍 アフラムシ類]

28

ベネビア^{OD}

[2000倍 収穫前日まで/ 3回以内]
〔アザミウマ類:アフラムシ類:ウリ/メイガ:ハモグリバエ類〕

ヨーバル フロアブル〔アザミウマ類:ウリ/ハムシ〕
[2500~5000倍 [2500倍 収穫前日まで/ 3回以内]
アフラムシ類:ウリ/メイガ:ハスモンヨトウ:ハモグリバエ類]

4A

アクタラ 顆粒水溶剤 [アフラムシ類]

[3000倍 収穫前日まで/ 3回以内]
[2000倍 ミカンキイロアザミウマ]

スタークル 顆粒水溶剤 **アルバリン[®]** 顆粒水溶剤
[2000~3000倍 収穫前日まで/ 2回以内]
〔アフラムシ類〕

[2000倍 アザミウマ類:ウリ/ハムシ:カメムシ類]

モスピラン 顆粒水溶剤 [ウリ/メイガ]

[2000倍 収穫前日まで/ 3回以内]
[2000~4000倍 アザミウマ類:アフラムシ類]
[4000倍 ウリ/ハムシ]

ローテーション散布

23

モベント[▼] フロアブル

[2000倍 収穫前日まで/ 3回以内]
〔アザミウマ類:アフラムシ類:ハダニ類〕

6

アニキ^{乳剤}

[1000倍 収穫前日まで / 3回以内]
[2000倍 ハスモンヨトウ]

アフーム

[2000倍 収穫前日まで / 2回以内]
〔アザミウマ類: 乳剤
ハモグリバエ類:ウリ/メイガ:ハスモンヨトウ〕

アグリメック

[500~1000倍 収穫前日まで/ 2回以内]
〔アザミウマ類:ハダニ類〕

4C

トランスフォーム[▼] フロアブル

[1000~2000倍 収穫前日まで/ 2回以内]
[2000倍 アフラムシ類]

5

ティアナ^{SC}

[2500倍 収穫前日まで/ 2回以内]
[2500~5000倍
アザミウマ類:ハモグリバエ類:ウリ/メイガ]

9B

コルト 顆粒水和剤

[4000倍 収穫前日まで/ 3回以内]
〔アフラムシ類〕

※ [害虫名]はコナジラミ類以外の適用害虫。他害虫と同時防除できます。
使用の際は使用基準を確認してから使用しましょう。